
タイムカプセル

犬坊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

タイムカプセル

【Nコード】

N0545B

【作者名】

犬坊

【あらすじ】

何億年も後の話、地球にはるか彼方の地球と同じような大きさのカポル星からカポル星人がやってきた。彼らが故郷に持ち帰った物は

何億年も後の話、地球にはるか彼方の地球と同じような大きさのカポル星からカポル星人がやってきた。

本当は地球文明との接触を図りたかったのだが、時すでに遅し。

人類はもう絶滅して、地球の文明は滅びていたのだ。彼らは代わりに滅びた地球文明の痕跡をした。

そして、四角い形の小さな箱をみつけた。

随分風化してきているが、明らかに文明のもたらした物である。

それは地球でその昔「タイムカプセル」とか呼ばれていた物。

中身はほとんど風化していたが、彼らにとっては百の宝石より貴重な物だった。

彼らは故郷から調査団を呼び寄せて、同類の物がなにか必死に探し回った。

遺跡もいくつか見つかった。住居らしきもの。用途不明のやたらと高い金属性の建物などなど。

もちろん、「タイムカプセル」も多数みつかった。

しかし、それらのほとんどは既に風化しており、彼らはもつと完全な文明の痕跡を探し求めた。

そして、やっとのことで、完璧な状態で残された「タイムカプセル」を発見した。

が、しかし、なかなか開かない。非常に丈夫にできているようだ。

仕方がないので、カポル星に持ち帰って開けることにした。カポル星では大騒ぎだった。

他の星の文明に興味を持つのは一部の科学者だけでなく、カポル星のほとんどの住民が興味を持っていた。

カポル星人は好奇心の旺盛な種族なのだ。

カプセルを開ける作業場には、その作業を見ることのできる観客席が設けられた。

カポル星中のいたる所から続々と集まってきた。

更に、作業の様子はカポル星中にリアルタイムで報道され、ほとんどの人がその様子を固唾を飲んで見守っていた。

やがて、カポル星で開発されたばかりの超強力なレーザーカッターが運ばれ、セットされる。

カプセルにはその星で平和を意味する黄色と黒の縞模様があったので、

彼らは全く危険を感じていない。

何故、原子の構造の略図がカプセルに彫ってあるのかも知らずに、全住民が期待に満ちた目で見守る中、最新鋭のレーザーカッターの刃はカプセルに入っていく。

その星は正に光に満ちていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0545b/>

タイムカプセル

2010年11月14日09時45分発行